



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和7年3月13日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化伝承課	記念物保護係	小野木・小林	直通 058-272-8759 内線 3147 FAX 058-278-2824
養老町教育委員会 生涯学習課	生涯学習・ 文化振興係	北村・若山	直通 0584-32-5086 FAX 0584-32-1946

## 岐阜県史跡の指定について

県は、岐阜県文化財保護審議会の答申に基づき、下記のとおり岐阜県史跡の指定を行います。  
なお、岐阜県史跡の指定は、今回の指定により149件になります。

### 記

種別	種目	文化財の名称	文化財の所在地
岐阜県史跡	古墳	ぞうびさんこふんぐん 象鼻山古墳群	はしづめあざおかやま 養老郡養老町橋爪字岡山214番1外109筆

※詳細は資料1のとおり

## 資料1 象鼻山古墳群

- ・年 代：弥生時代後期～古墳時代後期
- ・所有者：篠塚神社 外68名
- ・員 数：56基（面積44,955㎡）
- ・概 要：象鼻山古墳群は象鼻山山頂から山麓にかけて築造された70基からなる古墳群で、このうち指定対象となるのは56基である。各古墳の出土遺物の年代から、古墳群は概ね2世紀中頃～後半（弥生時代後期）、3世紀後半（古墳時代前期）、5～6世紀（古墳時代中～後期）の3段階に分けて築造されたことが判明している。

弥生時代後期は象鼻山山頂から中腹部にかけて多様な墳形の古墳が築造され、古墳毎に埋葬における土器の使用方法や副葬土器自体の特徴に差異がみられる。全体的に共通する部分が多く見られるものの、一連の葬送儀礼の様相が多様であることから、この段階の古墳群は周辺地域の複数勢力による共同墓地であった可能性が示唆される。

古墳時代前期には象鼻山山頂の最高所に前方後方墳である1号墳が築造され、中国鏡やことじがたせきせいひん琴柱形石製品、土器などが出土している。弥生時代後期のあり方とは異なり、この地域における首長が単独で古墳を築造する状況に変化したことがわかる。

その後、古墳時代中期から後期にかけて、象鼻山中腹部から山麓部にかけて円墳が築造される。

このように象鼻山古墳群は、弥生時代後期から古墳時代後期という極めて長期にわたって断続的に古墳が造営されるとともに、各時期の古墳群のあり方から当該地域の社会構造や歴史的推移を窺えるという点で、岐阜県において稀有な事例といえる。



山頂部の古墳群近景



1号墳出土鏡・琴柱形石製品



8号墳出土土器